

○これから、あなたとご家族が「毎日 安心して、楽しく 暮らすための 支援」について説明します。  
○この支援では、あなただけでなく、あなたの「かぞく」の悩みごとの解決や目標の達成を応援します。

1 ファミリープランとは（これまでの支援と違うところ）

障がいがある方とご家族を『一緒に支援』させていただく方法です。  
これまでは、あなた一人の計画を作っていました。  
これからは、あなたと家族みんなの計画を作ります。  
みんなで、何をするか決めるので、家族が何を必要としているかわかりやすくなります。

	これまでの「しえん」	これからの「しえん」(ファミリープラン)
だれをしえんする？	「あなた」だけ	あなたと、あなたの「かぞく」
「もくひょう」のきめかた	「ひとり」ずつ	「かぞく」でいっしょに
つながり	「ふくし」ちゅうしん	「びょういん」や「がっこう」もつながる

グループホームを利用する親子のファミリープランのモデル(例)

AさんとBさんは親子です。これまでは、6人の人が一緒に暮らすグループホーム生活していましたが、周りの人に気をつかうので、親子だけで暮らしたいと考えていました。

**これまで**

AさんはとBさん親子

もくひょう	もくひょう
自宅で一緒に暮らしたい	自宅で一緒に暮らしたい
通院を自分で行きたい	食事を一人で作れるようになりたい

↓

支援の方法	支援の方法
公共交通機関の訓練を行う。	食事について世話人と共同で行う。

かぞく 家族のきょうつうの「目標」

**これから**

AさんはとBさん親子

もくひょう	もくひょう
一緒に暮らしたい	一緒に暮らしたい
通院を自分で行きたい	車の免許をとりたい

↓

家族支援の方法

親子での生活を体験するために家族のみで暮らすグループホームで支援する。

グループホーム

「かぞく」だけで「せいかつ」できるグループホーム

もくひょうを同じ支援

支援する人は、家族の中で「あなただけ」だけを支援するのではなく、家族みんなのことをかんがえて支援します。

2 自宅で暮らす場合のファミリープラン

AさんとBさんが自宅で暮らすことになった場合もファミリープランが役立ちます。

自宅で生活するのファミリープランのモデル(例)

AさんとBさんは、グループホームを出て、2人でアパートを借りるようになりました。近所の人や地域の習慣、買い物や病院までの行き方、家事の役割分担が不安と感じていました。

**これまで**

AさんはとBさん親子

もくひょう	もくひょう
自宅での生活を継続したい	自宅での生活を継続したい
おだ せいかつ 穏やかに生活したい。	ひろ へや す 広い部屋に住みたい。

↓

支援の方法	支援の方法
きんりんじゆうみん 近隣住民とのかんけい 性 について見守りする。	きんせんじょうきょう 金銭状況について確認 する。

かぞく 家族のきょうつうの「目標」

**これから**

AさんはとBさん親子

もくひょう	もくひょう
ずっと一緒に自宅で生活したい	ずっと一緒に自宅で生活したい
おだ せいかつ 穏やかに生活したい。	ひろ へや す 広い部屋に住みたい。

↓

家族支援の方法

定期的に訪問し生活状況を確認する。

親子で不安になったことを、相談し合うことができるよう支援する。話すことが難しいことは、地域生活支援員から困りごとを聞く。

Aさんのみで地域の活動に参加することが難しい時は、Bさんと一緒に参加する。

ねんきん はい ひ 年金が入る日は、「ふたり」で社会福祉協議会に行き、残高を確認にいくよう支援する。

支援の方法	支援の方法
きんりんじゆうみん 近隣住民とのかんけい 性 見守りする。	きんせんじょうきょう 金銭状況について確認 する。

役割分担の習慣化

きょうりよく 協力しあう支援

不安なことは支援者が相談にのります